

読者の声を伺いました！

議会だよりの誌面内容を一新しましたので、ご愛読頂いています市民のご感想をアンケートにて伺いました。〔神崎市役所（17人）、脊振支所（10人）、千代田支所（25人）〕
回答結果（アンケート内容を抜粋して報告いたします。）

- ①『議会だより』について……『よく読んでいる・読んでいる』が約7割
- ②『誌面は読みやすかったか』について……『読みやすい・ふつう』が約7割

読みやすかった理由

- ・文字が大きすぎず内容もバラエティに富んでいた。
- ・写真が多く、レイアウトがすっきりして、構成が良かった。

- ③今後どのようなものを掲載して貰いたいですか。

- ・質問や答弁内容（18人）・各委員会の活動（16人）
- ・議会のうごき（15人）

- ④その他（ご意見）

- ・内容が詳しくなってよかった。
- ・記事の全部を一度に読まないのので、タイトル、要約したメッセージ、写真などを載せて頂くと議会での審議、普段の活動が私たちにも分かります。



アンケート調査の様子

お忙しい中に、アンケート調査に御協力頂いた皆さん有難うございました。

（議会広報編集特別委員会一同）

編集後記

中秋の名月ごろになると、ヒガンバナが至る所に咲きみだれる。

特に脊振地区の棚田は、真赤に染まる。農家が稲作を続けることで、昔からの美しい風景が残されてきたと思う。

5月の田植えから、9月の稲刈りまで、畦の草刈りを繰り返し管理され、やっと彼岸ごろ、畦を覆いつくすように、真赤な花を咲かせる。

棚田は小さく水田が連なり、山の湧き水で米作りをされている。

しかし、高齢化で耕作放棄された田んぼからは次第に姿を消していくそうだ。

棚田と、ヒガンバナが織りなす美しい風景は、いつまでも至るところに残してほしいものである。

（記 内田良治）

広報委員会

委員長	白石 昌利	委員	野口 英樹
副委員長	野副 芳昭	委員	原口ひさよ
委員	宮地 明	委員	内田 良治